

| | | | | | |
|------------------------------|---------------|-----|-------------------------|--------|---------------------------------------------------|
| 2月 例会 個人 山行報告書 | | 報告者 | 松中、吉田、江頭 | 参加メンバー | A班江頭、金子 B班亀山、山田、天野、吉田 C班渡辺(勝)、三矢、松中、吉村、渡辺(育)、須藤さん |
| | | 報告日 | 3月10日 | | |
| 山域 | 奥美濃 | 山行日 | 08年2月22日(金)~07年2月24日(日) | | |
| 山名 | 毘沙門岳・イトシロスキー場 | | | | |
| 山行目的 | 雪上技術の向上 | | コースタイム(天候:天気図記号) | | |

配布先
集会:10
山行:1
リーダー
原紙:集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5万分の1地図:石徹白[北西][南西]

毘沙門岳 1385M

2月22日(金)晴
19:00 N1駐車場発
21:30-22:30 民宿おしたにに着

2月24日(土)晴
< A・B班 > 毘沙門岳
06:30 起床
07:00 朝食
09:20 スキー場最上部発
10:30 休憩
11:15 折り返し
12:20 休憩
13:15 ゲレンデ着
< C班 > イトシロスキー場
09:00 ゲレンデ着
12:00-14:00 昼食・休憩
15:40 ゲレンデ発
16:00 民宿おしたにに着

18:00 夕飯/懇親会

2月24日(日)雪 晴
06:30 起床
07:00 朝食
< 悪天につき沈殿、その後天気快復 >
11:30 餅つき大会
13:00 現地解散
(渡辺(勝)、渡辺(育)、須藤さん
ゲレンデスキー)

< 2/22 >
2月度例会である。22日は刈谷から亀山車と金子車、豊田発の渡辺車がお世話になる民宿「おしたに」さんへ向け出発し現地で合流。ご主人、女将さんとも全く変わらずのお元気に敬服する(江頭)。

< 2/23 A・B班 毘沙門岳 山行報告 >
初めてのワカン装着はとても時間がかかり、皆を待たせてしまった。スタートして30mほどして、息が上がる。。冬山ってずいぶん体力を使うのだなあ、と思った。15分ほど歩くと樹林帯の中へ。途中ポイントとなるところで、先頭の山田さんが赤いリボンを木に結び付けながら進む。雪は膝下まで埋もれるほど積もっていて、先頭を交代しながら進む。歩き始めて1時間もすると風が出てきた。前線が通過中のようだ。横風がどんどん強くなっていく。顔面に当たってくる雪が痛いっ! 体のバランスを崩しそうなほど風が強くなってきた。
11:15、ついに引き返すことになった。帰路は、近道できるルートを選んで帰ろうと探すも、それを見つけれず来た道を引き返した。行きにつけた赤いリボンのおかげで無事、ゲレンデに戻ることができた。(吉田)

< 2/23 C班 イトシロスキー場 >
A・B班と共に宿を出発、6名でゲレンデスキーを楽しむはずが、降りしきる雪が湿っぽく、4本滑っただけでびしょぬれに。こんな日は他に楽しみを・・・レストハウスで登山隊の検討を祈りながら乾杯、歓談に花が咲く。お昼前にひと滑りしてみると更に厳しい状況に。猛吹雪で足元が見えない。下からも風が吹き上げており滑りも悪い。
12:00ごろ、休憩もせずボードを練習していた吉村さんとレストハウスで合流、その後、A・B班も下山し皆で休憩した。ゲレンデより上は更にひどい強風だったようだが、雪山デビューの天野さん、吉田さんは生き生きとしていた。14:00ごろ風が弱まった。金子さん、江頭さんも加わり、1時間半ほど滑って宿に戻った。(松中)

< リーダー-所見 >
「民宿 おしたに」を利用した山行が昨年から復活した。今年は、イトシロスキー場のリフト最終点から毘沙門岳をめざした。デンソー山岳部に於いて初めてのルートで興味もあった。ルートはブッシュが多く、山スキーには適さないが、スノーシューで歩くにはお勧めコースである。今回は暴風雪で頂上手前で断念したが、また、天気の良い日に登ってみたいコースである。
民宿のご夫妻はお元気でした。(金子)

確認 (亀山車) **08.03.11** 亀山

確認 (金子リーダー) **08.03.11** 金子

作成 (報告者) **08.03.11** 吉田 **08.03.11** 江頭



08.02.23 伊シロシャ-ロットスキー場から毘沙門岳を目指す、が

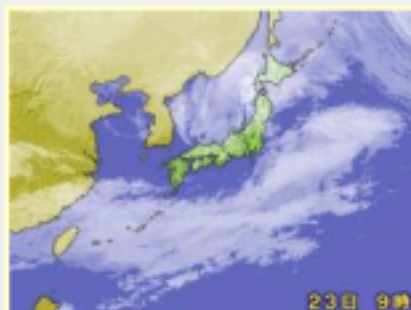


08.02.24 餅つき大会をやって戴く



08.02.24 皆で餅をつく

2008年2月23日(土)



| | 天気(9時) | 最低気温 | 最高気温 |
|-----|--------|-------|-------|
| 札幌 | にわか雪 | -1.3℃ | 1.2℃ |
| 仙台 | 曇 | -0.3℃ | 11.9℃ |
| 新潟 | 曇 | 1.7℃ | 9.1℃ |
| 東京 | 快晴 | 5.1℃ | 17.0℃ |
| 名古屋 | 快晴 | 5.1℃ | 11.9℃ |
| 大阪 | 晴 | 8.0℃ | 12.6℃ |
| 広島 | 快晴 | 7.8℃ | 11.1℃ |
| 高知 | 晴 | 6.6℃ | 15.6℃ |
| 福岡 | 晴 | 10.1℃ | 12.6℃ |
| 那覇 | 曇 | 18.9℃ | 21.4℃ |

▲ 最低気温は9時まで、最高気温は21時までのデータです。

『春一番 & 北風の応酬』

22日21時に日本海西部で発生した低気圧が
23日には急速に発達しながら夕方、津軽海峡付近に達した。
中心気圧は22日21時からの24時間で28hPa低下。

関東南部は曇りかけて、低気圧に吹き込む南風が強まった。
東京は午後2時に最大風速SW6m/s(最大瞬間風速は15.9m/s)、
昨年より9日速、「春一番」、13.06℃は最高気温17℃を記録。
ところがその後、にわかで空が曇り、風向きが北寄りになった。
寒冷前線の通過に伴い、14.47℃はNW27.9m/sの突風、
都心の街中は砂まこりやゴミが舞い上がり、
一時は景色が黄色(茶色)っぽく灰色したほど。気温も急降下。

■日最大瞬間風速

三宅島WNWS2.5m/s(21:41)、深浦WSWS2.2m/s(17:05)
白河NA32.0m/s(16:14)、八丈島WS02.2m/s(15:24)
相川NW29.9m/s(20:37)、鏡子NW29.5m/s(22:15)
八戸SSW29.2m/s(16:35)、松江WNW29.2m/s(10:30)
瀬戸NNW28.7m/s(16:51)、西郷W28.5m/s(09:19)
東京NA27.9m/s(14:47)、仙台WNW27.5m/s(15:22)

■1時間降水量の日最大値

西表島17.3ミリ(07:40)、伊仙(鹿児島)14.3ミリ(02:30)
伊良部(沖縄)13.3ミリ(07:10)、浦河11.3ミリ(20:00)2月1位
小国(山形)11.3ミリ(12:40)、天城(鹿児島)11.3ミリ(01:40)
与論島(鹿児島)11.3ミリ(04:50)、下地(沖縄)11.3ミリ(07:10)
長万部(徳島)10.3ミリ(15:50)2月1位
矢島(秋田)10.3ミリ(13:00)2月1位

■日降水量

長万部(徳島)41ミリ、黒松内(後志)39ミリ、
安平(旭川)36ミリ、札幌35.5ミリ、
厚真(旭川)32ミリ、五箇山(高山)31ミリ、
小金湯(石狩)30ミリ、奥尻(檜山)29ミリなど。

■24時間降雪量(23時の値)

音威子府(上川)43センチ、黒松内(後志)43センチ、
小金湯(石狩)42センチ、寿都(後志)42センチ、
恵庭島松(石狩)40センチ、歌登(宗谷)39センチなど。

上空寒気(500hPa)寒気の中心が中国東北部から南東部、
夜遅くには-36℃以下の範囲が日本海北部から東北日本海側へ、
21時500hPa気圧面は秋田-37.7℃、秋島-36.3℃。
21時頃は850hPa-12℃ラインが、本州日本海側にかかる。
なお、12時の地上気温は東京13.9℃、大阪12.5℃、
24時頃は東京0.9℃、大阪0.8℃まで下がり、
屋外の暖かきまうそのよう。

■夕方発表された、暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報、
第3号では、北陸地方の24時間降雪量が多い所で100センチ、
四国の瀬戸内側、本州の太平洋側でも積雪が予想された。

23日の大荒れ天気は各方面にも影響した。
東北新幹線が一時全線で運行を見合わせ、
東北、上越、長野新幹線の計26本が運休した。
そのほか在来線や地下鉄も各地でストップ、混乱が続いた。
都内ではブル作業現場の足場が崩壊し落下、
国分寺市ではマンション工事現場のクレーンが傾いた。

最高気温 関東南部、東北部では、
一時的に4月上～中並まで上昇。
東京17.0℃、横浜15.9℃、銚子15.9℃、
水戸15.3℃、仙台11.9℃など。
ただし、東京では14:40～50の10分間で、
13.6℃から8.7℃まで急降下。

東海、北陸西部、西日本は
10～15℃まで上がるが、
それでも前日より2～5℃低い。

最低気温 朝の気温は全国的に高め、
3月中～4月中並み。
松山10.1℃(平年差+8℃)
高松8.4℃(同+7℃)
広島、福岡は同+6℃、
札幌、大宮は同+5℃、
名古屋、高知、那覇は同+4℃。